



2025 年度 地域連携推進会議 議事録

【日時】 2026 年 3 月 11 日 (水) 13:30 ~ 15:45

【場所】 宮共生会 本部事務局 1 階(早岐 1 丁目 6 番 43 号)



【社会福祉法人宮共生会 チームこもれび】

【早岐 2 丁目 35 番 8 号 0956-37-6370】

2025 年度 地域連携推進会議 議事録

出席者（順不同）

○宮共生会

理事：本川 健・中村 健太郎、管理者：松永 麻衣子、サビ管：恵木本 妙子・岡野 憲子

社会福祉士：藤吉 睦美、介護福祉士：田中 美由紀、看護職員：山村 譲

○構成員

自治協議会：K 様、早岐支所：K 様、佐世保市障がい福祉課：H 様

社会福祉協議会：T 様、利用者家族：Y 様、利用者：T 様

1. 開会挨拶（中村）

2. 会議趣旨説明

別紙資料あり（報告者：松永）

資料を参考に、本会議の趣旨説明を行う。また、当法人のコンセプトや利用者への思いや大切にしている事を説明。本会議を通じて、利用者は質の高い支援が受けられることや、事業所が地域で運営がしやすくなることを説明した。

3. 委員紹介

構成員全員に自己紹介を含め、挨拶をしていただいた。

4. 法人理念説明

(1) 別紙資料あり（報告者：本川）

法人説明の動画 5 分を上映。

～障害のある方のライフステージ全般を支える支援実践～15 分ほどの説明を行う。宮共生会の沿革や経営理念について、実施事業所(就労系・介護系・児童系・GH・相談)の紹介

を行った。役割をもって働く事の意味について(就労系の経営方針、農福連携、生活介護事業所の作業や活動)、写真を含むスライドにて説明した。

(2) 別紙資料あり〈報告者:中村〉

～医療と福祉が重なり合う、地域に開かれた新しい「居場所」～10分ほどの説明を行う。医療的ケア児・者の宿泊受け入れを行う医療型短期入所事業や、県北地域の診療所開業(小児科外来・訪問診療)について紹介を行った。すべての子どもたちとご家族の為の居場所づくりとして写真を含むスライドにて思いと運営実績を説明した。

5. 支援実践報告

別紙資料あり〈報告者:岡野〉

利用者の1日の様子について動画5分を上映。

～メンバーの思いに寄り添って～20分ほど当事業所(GH)説明した。

① 医療と福祉の連携

(1) 医療 : 受診の支援、内服の支援、重度高齢化への実践と課題と検討

(2) 福祉 : 生活面の支援、食事支援、居室清掃支援、余暇活動

② 支援実践～支援での困りごと、その取り組みについて

精神保健福祉手帳所持、50代女性、要介護2、障害支援区分4の利用者様の退院直後の受け入れ実績。病識がない事や、短期記憶障害の症状に合わせた支援の提供。環境づくりや視覚的ツールの活用、失敗と成功を繰り返しながらご本人が安心して過ごせるような居場所づくりを目指している事を報告した。

6. 施設見学

構成員の利用者T様にはここまでで退席していただき、その他の構成員にGHの見学を行って頂く。見学の際、世話人・利用者・職員との対談を行った。

7. 意見交換・質疑応答

30分間の意見交換の場を設け、活発な質疑応答が行われた。

① 地域社会との相互理解

法人の活動内容が地域へ十分に知られていないことに対し、事業所側が実施している取り組みについて自治会への加入や、一斉清掃、ごみ当番への積極的な参加実績を説明。地域側からのアドバイスとして自治会の定例会や地域の広報棚を活用したさらなるPRを検討すべきとの助言がある。GHの建設前だけではなく、継続的な対話が不可欠である。

② 安全管理と防犯・プライバシー

外部侵入者に対するカメラ台数の検討。巡回チェックにより防犯意識の維持。階段利用時の安全性については挨拶が生まれるメリットは維持しつつ、安全面や夜間の防犯体制を再検討する。交通安全については地元車両優先の徹底や制限速度以下での徐行を継続。

③ 生活環境とケア体制

障害特性によるパニック対応については、特別なクールダウン室はないが、個室を最も安心できる場所として活用。生活音についてなど利用者会議で共同生活のルールづくりや意識を高めることを継続。

制度の65歳の壁はあるが、身体・認知機能に著しい低下がない限り、継続入居は可能であることを説明。支援実践の多職種・他機関連携については、病院(主治医・看護師・SW)、相談支援専門員、保健師、生活介護事業所と密に連携をとった事を報告。退院後も定期的な評価を行い、医療と福祉のサポート体制を構築している。

④ 行政・自治協議会の見解

現在のところ施設に対する大きな苦情などは届いていない。非営利目的であれば自治会の情報発信ルートの活用も可能であり、積極的な情報提供を期待する。

丁寧なコミュニケーションを継続してほしい。

8. 閉会挨拶〈中村〉

本会議へ出席していただいたことへ感謝が伝えられた。

【まとめ】

今後も地域との関係構築を進めていく。

【会議風景】



【訪問風景】

